

2020 年度神戸大学国際人間科学部発達コミュニティ学科アドミッション・オフィス (AO) 入試問題
表現領域受験 (音楽受験) 筆記試験

『出題の意図・評価ポイント』

音楽に関する基礎的知識、および音楽文化全般に対する関心の深さと理解力を問う検査

※1 この『出題の意図・評価ポイント』についての質問、照会には一切回答しません。

※2 配点(素点)は入試問題に記載してあります。

なお、本学入学者選抜のための教科・科目ごとの配点については、2020 年度神戸大学学生募集要項を参照してください。

【出題の意図・評価ポイント】

問1. 配付した楽譜について、以下の問いに答えなさい。

①から⑤の音程を答えなさい。複音程になる場合は、単音程に直すこと。

【出題意図】長短完全、複音程、単音程などについて理解しているか。

問2. 以下の音楽用語について、その意味を書きなさい。

【出題意図】基本的な音楽ジャンル、器楽編成、楽器の種類などの音楽用語について理解しているか。

問3. 配付した文章は、作曲家近藤譲のエッセイから、音楽と言葉についての考えを整理した文章である。ここで指摘されている十八世紀以前と以降の伝統的な「音楽と言葉」との関係を踏まえて、実際にあなた自身の音楽体験のなかで感じた「音楽と言葉」との関係性について論じなさい。800 字以内でまとめなさい。

【出題意図】声楽曲における音楽と言葉との関係性と同様に、器楽曲にも言葉があること、音楽を言葉として捉えることについて理解されているか。18 世紀以前と以降の音楽の発展の違いについて思考したことがあるか。作曲家の役割について理解しているか。